

## 目標達成計画

作成日: 令和4年 5月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2-(2) 4-(3) 20-(11) 40-(19)	コロナ禍で外出や地域への参加に制限がかかり、行事が出来ていない。 家族様の来所や集まりの声掛けがなかなか出来ていない。	地域行事に参加する。 外出行事を実行する。 運営推進会議の開催	・これまでの関係性があつた地域の方への挨拶と今後の再開に向けての話をを行う。 ・外出行事に関しては、少人数で回数を増やし実施を行う。 ・運営推進会議は人数制限を行いながら実施を行う。	随時
2	23-(12) 26-(13)	目標に対しての本人の語り(ニーズ)と家族のニーズと専門職のニーズが上手く統合できていない。	介護計画書・生活機能向上計画書のニーズをわかりやすく記載出来る様に書式等の改善を行う。	アセスメント時に本人が感じるニーズ・家族が感じるニーズを各項目に分けて記載出来る様にしていく。 その上で専門職のニーズとしてすり合わせる考え方を浸透させていく。	12ヶ月
3	10-(9) 11-(10)	・職員の仕事に対しての意見を聞いているもののブラッシングが十分に出来ていない。 ・家族様の意見は聞いていると思うが、それは意見を言ってくれる家族のみで意見を言われたい方へはこちらから聞き取りにいけない。	業務ケアの質の追求を行う。 家族様の意見が伝えやすい環境を整える。	・職員の意見のブラッシングに対してはもっと職員とのコミュニケーションをとり、時間をかけて実施する。 ・家族様への意見の聴衆は1年に一回行っているが、白紙の回答の方へは直接電話かお会いして再度確認を行う。	12ヶ月
4	30-(14) 32-(15)	主治医や薬局とは連携が取れているが、入院先等のソーシャルワーカーとの連絡が密に出来ていない。	多職種との連携の強化	・主事や薬局と同様に気軽に相談できる関係性を入院先等のソーシャルワーカーと築いてい為に定期的にほおずきで作成しているホスマ等を持参しコミュニケーションを図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。